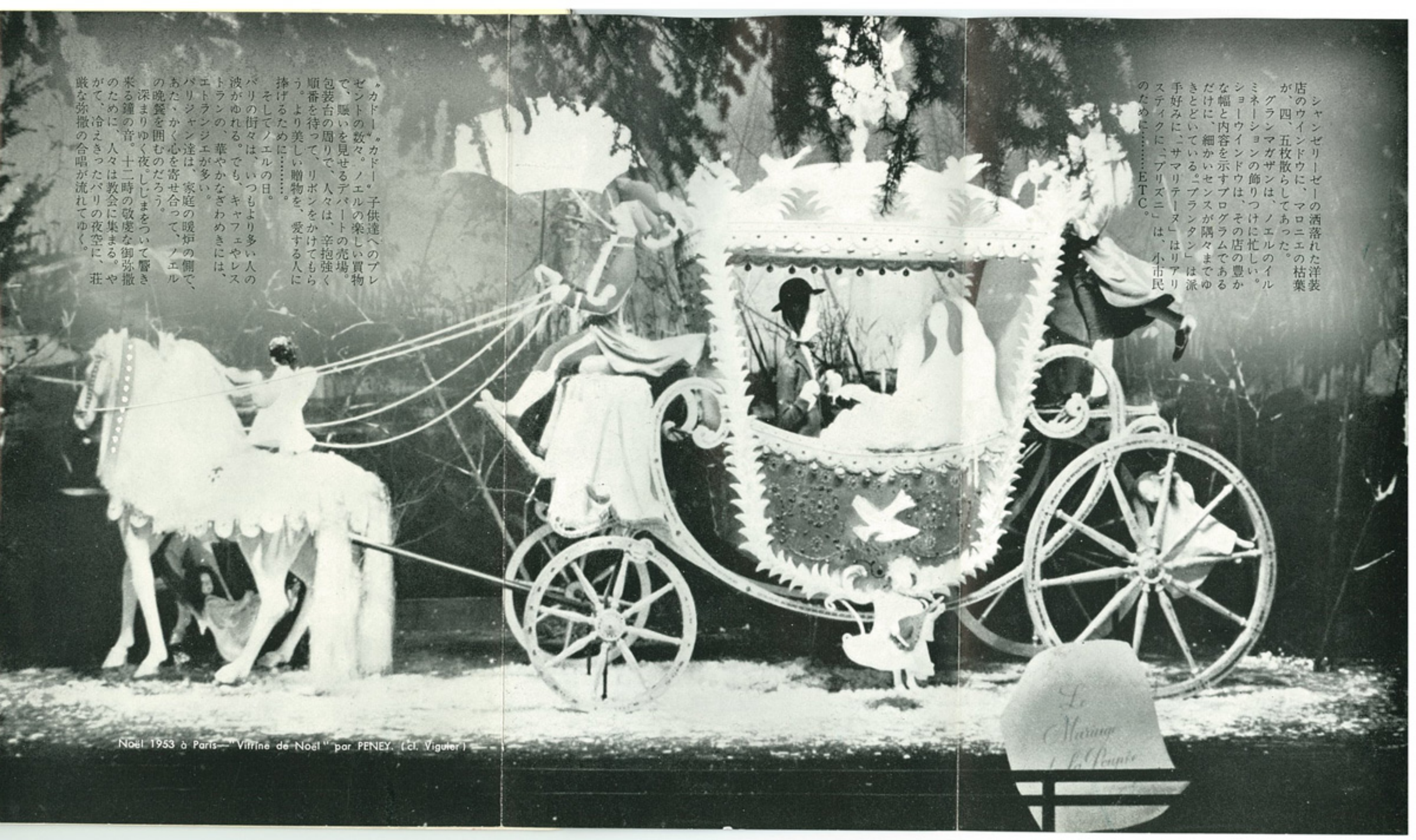


シャンゼリゼーの洒落れた洋装店のウインドウに、マロニエの枯葉が、四、五枚散らしてあった。グランマガザンは、ノエルのイルミネーションの飾りつけに忙しい。ショーウインドウは、その店の豊かな幅と内容を示すプログラムであるだけに、細かいセンスが隅々までゆきとどいている。「ブランタン」は派手好みに、「サマリテーヌ」はリアリステイクに、「プリズニ」は、小市民のために……ETC。

・カドー。カドー。子供達へのプレゼントの数々。ノエルの楽しい買物で、賑いを見せるデパートの売場。包装台の周りで、人々は、辛抱強く順番を待って、リボンをかけてもらう。より美しい贈物を、愛する人に捧げるために……
そしてノエルの日。
パリの街々は、いつもより多い人の波がゆれる。でも、キャフェやレストランの、華やかなざわめきには、エトランジェが多い。
パリジャン達は、家庭の暖炉の側で、あたたかく心を寄せ合って、ノエルの晩餐を囲むのだから。
深まりゆく夜。しじまをついて響き来る鐘の音。十二時の敬虔な御弥撒のために、人々は教会に集まる。やがて、冷えきったパリの夜空に、荘厳な弥撒の合唱が流れてゆく。



Le
Marrage
Le Peuple

Noël 1953 à Paris—"Vitrine de Noël" par PENEY. (cf. Viguer)